

第7期計画（素案）からの主な修正内容

意見内容	本文修正内容	本文修正箇所	
他の計画とも連携しながら地域の関係性づくりを進めることを触れた上で、地域安全施策を進めるべき	地域のきずなを強める取組を他計画とも連携しながら推進する旨を追記	P1 P2	I はじめに II 1 位置づけ
相談内容を踏まえて適切に対応しつつ、窓口を広報していくべき	SNSや広報紙等を活用して、効果的な情報発信を行う旨を追記	P39	VI 行動 2 (3)相談体制の構築
闇バイト対策について、中学校や高校で啓発するべき	児童・生徒向けの啓発、闇バイトへの関わり防止を含めた非行防止教室を実施していることから、具体的取組として追記	P41	VI 行動 3 (2)闇バイト、SNS型投資・ロマンス詐欺の未然防止
AI等のテクノロジーを活用した犯罪抑止を考えていくべき	AIを活用した闇バイト募集の抑止を図っていることから、具体的取組として追記		
トクリュウについて、地域の身近な場所が犯行に利用されることがある観点にも触れながら、対策を考えていくべき	防犯活動で注意を要する箇所の周知等により、防犯意識を向上させ、犯罪抑止等につなげていく旨を追記	P10	III 1 (8)新たな犯罪グループ・手口への対策
・第7期計画の策定にあたり、特殊詐欺、トクリュウ、闇バイト等、近年の犯罪情勢の特徴を踏まえ、的確に対応していくことを明確化 ・これまでの計画期間を追記 ・刑法犯認知件数や特殊詐欺被害等について、R6数値を踏まえた内容に更新 ・防犯活動や見守り活動が犯罪の未然防止につながる旨を追記 ・具体的取組としてR7新規事業を追記（特殊詐欺対策等）		P1 P5 P12 P40 等	I はじめに III 1(4)刑法犯認知件数 III 2(2)地域防犯活動者の意識 VI 行動 3 (1)特殊詐欺の未然防止 等

その他いただいたご意見

意見内容

子どもと地域をつなげる方法として、児童による住民インタビュー、まちの歴史調査等を実施している

関係機関で協力して、住民へ情報提供を行うことが重要である

犯罪被害者等支援や再犯防止の位置付けについて、今後も検討してほしい

若年者が防犯リーダーとして、地域の高齢者を支えることにつながるような、講習会ができるとよい

精神疾患がある方と地域がうまくつながるように、関係機関等で適切に支援していくとよい

子どもの見守り活動等を通じて、地域や家族の絆につなげることが重要である

公共の場所等における突発的な犯罪への対応ができるとよい

施策の効果の検証や、施策に係るデータの公開ができるとよい

個人情報保護にも留意しながら、子どもの情報が地域で共有されるとよい